

## 九州国際大学研究者情報

### 基本情報

所属	現代ビジネス 学部 地域経済学科	氏名	山本 雄三 Yamamoto Yuzo
職名	教授	E-mail	y-yamamoto@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

#### ■ 学歴・取得学位

2003(平成15)年3月	一橋大学経済学部経済学科卒業 学士(経済学)
2005(平成17)年9月	青山学院大学大学院経済学研究科博士前期課程修了 修士(経済学)
2015(平成27)年3月	東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻 博士後期課程単位取得後退学

#### ■ 主な職歴

2007(平成19)年6月	独立行政法人労働政策研究研修機構 臨時研究協力員
2011(平成23)年7月	青山学院大学経済学部 助手
2014(平成26)年4月	九州国際大学経済学部 助教
2017(平成29)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部 准教授
2023(令和5)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部 教授(現在に至る)

### 教育活動

#### ■ 主な担当授業科目

○ 学部：労働経済学，ミクロ経済学，入門セミナー，専門演習，卒業研究
○ 大学院：

#### ■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：2018年度入門セミナーテキスト（Ⅰ．7,8章，Ⅱ．13,14章，15.3担当）
○ 教科書・教材：2019年度入門セミナーテキスト（第Ⅰ部6,7章，第Ⅱ部28,29章担当）
○ 教育活動：
○ 免許・資格：

### 研究活動

#### ■ 研究分野

研究分野	経済学
------	-----

主な研究テーマ	多様化する労働市場・働き方に関する研究
キーワード	労働経済関連

■ 主な著書・論文等

著書
論文
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統計指標に基づく市町村分類の試み（共著：高見具広・高橋陽子），2018年，JILPT Discussion Paper 18-05, pp.1-44.</li> <li>○ 緊急事態宣言（2020年4～5月）下の在宅勤務の検証，（共著：高見具広），2021年，JILPT Discussion Paper 21-01, pp.1-39.</li> <li>○ コロナ禍における個人と企業の変容：働き方・生活・格差と支援策、慶應義塾大学出版会、2021年、(樋口美雄・労働政策研究・研修機構（編）)（第Ⅱ部第7章「コロナ禍の在宅勤務による生活時間の変化——「新しい日常生活」を執筆、共著：高見具広）。</li> <li>○ コロナ禍における所得変動と所得格差，（共著：高見具広），2022年，JILPT Discussion Paper 22-03, pp.1-54.</li> <li>○ 検証・コロナ期日本の働き方—意識・行動変化と雇用政策の課題—、(共著)慶應義塾大学出版会、2023年、(樋口美雄・労働政策研究・研修機構（編）)（第Ⅰ部4章「雇用労働者における労働時間・収入の変動」，第Ⅱ部第12章「コロナ禍の働き方変化とウェルビーイング —労働時間減少とテレワークに着目して—」を執筆、共著：高見具広）</li> <li>○ Working from home during the COVID-19 state of emergency in Japan, (with Tomohiro Takami ) , 2024 , Japanese Journal of Sociology . &lt; <a href="https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/ijjs.12166">https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/ijjs.12166</a> &gt;</li> <li>○ 「職業特性と健康—日本版0-NETとの接続による分析」，（共著：高見具広・小松恭子），2025年，『働き方と生活・健康の課題 —JILPT 個人パネル調査の分析—』労働政策研究報告書，No. 235, 第2章, pp.54-78.</li> <li>○ 「ポストコロナのテレワーク」，（共著：高見具広），2025年，『働き方と生活・健康の課題 —JILPT 個人パネル調査の分析—』労働政策研究報告書 No. 235 第5章 pp.125-39</li> </ul>
学会発表
その他

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

2011(平成23)年12月	「非正規就業する若者が正社員へ移行する要因は何か—継続期間データを用いた規定要因分析」，小杉礼子・原ひろみ 編著『非正規雇用のキャリア形成～職業能力評価社会を目指して』，第Ⅰ部第2章，勁草書房。
----------------	---

■ 主な所属学会

日本経済学会，日本統計学会
---------------

■ 受賞等

2010(平成22)年3月	第四回日本統計学会春季集会ポスターセッション 優秀発表賞
---------------	------------------------------

■ 研究助成金による研究

- 財団法人 理工学振興会 研究助成 (2008年4月)

社会における活動等

- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「非正規労働者の様態に応じた能力開発施策に関する調査研究」研究委員 (2007年6月-2010年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「ジョブ・カード制度の現状と今後の方向性のための研究」研究委員 (2010年4月-2013年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「働くことと学ぶことについての研究会」研究委員 (2010年4月-2013年3月)
- 代表校北九州市立大学の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」調査研究WGメンバー (2016年7月-2018年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2017年7月-2018年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2019年6月-2020年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2020年9月-2021年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「新型コロナウイルスによる経済、雇用・就業への影響、及び経済、雇用・労働対策とその効果についての分析に関する研究会」研究委員 (2020年9月-2021年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2021年6月-2022年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「新型コロナウイルスによる経済、雇用・就業への影響、及び経済、雇用・労働対策とその効果についての分析に関する研究会」研究委員 (2021年6月-2022年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「経済社会の変化と労働者の生活、健康、ウェルビーイングに関する研究会委員」研究委員 (2023年9月-2024年3月)
- 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「経済社会の変化と労働者の生活、健康、ウェルビーイングに関する研究会委員」研究委員 (2025年5月-2026年3月)

大学運営活動等

- 図書委員 2014年4月～2015年3月
- 学生サービス委員 2015年4月～2017年3月
- IR推進委員 2017年4月～2018年3月
- 入試広報委員 2020年4月～2024年3月
- 国際センター委員 2024年4月～2025年3月
- 入門セミナー担当幹事 2014年10月～2017年3月, 2022年4月～2024年3月, 2025年4月～

- 専門演習(2年次以上)担当幹事 2018年4月～2019年3月
- 地域連携センター副センター長 2025年4月～